

京響新シリーズ
オペラ
コンチェルタンテ
Concertante

京都市交響楽団
第680回
定期演奏会

〈神奈川フィル、京響、九響 共同企画〉
沼尻竜典、満を持しての
オペラ・コンチェルタンテ
R.シュトラウス：楽劇「サロメ」

2023 7/15(土)
午後2時30分開演 (午後1時30分開場)
京都コンサートホール



指揮：沼尻 竜典
Conductor: Ryusuke Numajiri



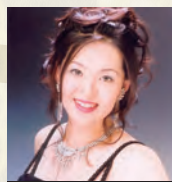
サロメ
田崎 尚美

Salome: Naomi Tasaki



ヘロデ
福井 敬

Herodias: Kei Fukui



ヘロディアス
谷口 睦美

Herodias: Mutsumi Taniguchi



ヨハナーン
大沼 徹

Yochanaan: Toru Onuma



ナラボート
清水 徹太郎

Narraboth: Tetsutaro Shimizu



ヘロディアスの小姓
山下 裕賀

Ein Page der Herodias: Hiroka Yamashita

R.シュトラウス：
楽劇「サロメ」作品54

(演奏会形式 / 全1幕 / ドイツ語上演 / 日本語字幕つき)
R. Strauss: "Salome", drama in 1 act op. 54 (concert style)

※本公演に休憩はございません。
There will be no intermission in this concert.

助成：公益財団法人アフィニス文化財団



公益財団法人三菱 UFJ 信託芸術文化財団

京都市交響楽団

The 680th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

ユダヤ人1:小堀 勇介 ユダヤ人2:新海 康仁 ユダヤ人3:山本 康寛
ユダヤ人4:澤武 紀行 ユダヤ人5:加藤 宏隆
ナザレ人1 / カップドキア人: 大山 大輔 ナザレ人2: 大川 信之
兵士1: 大塚 博章 兵士2: 齊木 健詞
奴隸: 山際 きみ佳



入場料 2023.5/20(土)から発売

◎5,500円 ▲5,000円 ④4,000円 ③3,000円

「U22」(当日残席がある場合のみ発売)

◎2,000円 ▲1,500円 ④1,000円 ③1,000円

※22歳以下のお客様が対象です。開演1時間前から発売(当日券売場にてお買い求めください)。
電話や窓口での事前予約はできません。席種は選べますが、座席指定はできません。
ご購入及びご入場の際は年齢の確認できる証明書をご提示ください。

チケット
ご予約

- 京都コンサートホール (075) 711-3231
- ロームシアター京都 (075) 746-3201
- 24時間オンラインチケット購入 <https://www.s2e-get.jp/kyoto/pt/>
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード227-671
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード52904

お問い合わせ

京都市交響楽団 (075) 222-0347 <https://www.kyoto-symphony.jp/> →
京都コンサートホール (075) 711-3231 <https://www.kyotoconcerthall.org/>

©未就学のお子様のご入場はお断りいたします。◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。



- ◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」(有料・要予約・定員10名)をご利用ください。(お子様お1人につき1,000円/2023年7月7日までに京響075-222-0347へお申し込みください)
- ◆10枚以上のチケットお申し込みには団体割引(10%OFF)があります。京響(075-222-0347)までお問い合わせください。
- ◆障がいのある方ご本人及び介助の方1名に限り1割引いたします。京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱います(窓口で手帳等の証明書をご提示ください)。
- ◆本公演は京都コンサートホールによる新型コロナウイルス感染症拡大防止のガイドラインに従って開催します。詳細はホールHPをご覧ください。 <https://www.kyotoconcerthall.org/>



主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団



協賛：ローム株式会社

協力：株式会社ドルチェ楽器

後援：(株)エフエム京都

発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。



京響新シリーズ「オペラ・コンチェルト」。この演奏会形式オペラは毎年の定期公演でお届けする予定です、お楽しみに。オペラ座で上演するグランド・オペラとは違い、大道具、小道具、衣装などほとんど使われないので、真にオペラの「音楽」を楽しむことができます。ですから、歌手、オーケストラにとっては通常のオペラ上演より気合が入ります。「サロメ」はオスカー・ワイルドの戯曲をもとにR.シュトラウスが2年をかけて作曲しました。世紀末的内容と官能的表現が、清純と淫蕩、可憐と強靱、正気と狂気を併せ持った一人の女サロメのキャラクターを引き立たせます。特に第4場の「サロメの踊り」のシーン。かつてはサロメ役の歌手が長い踊りを踊らなければなりません。今ではオーケストラ単体でも演奏される機会が多いこの場面。今回は歌手による踊りは割愛し、音楽に集中することでその狂気を一層感じられることでしょう。主なる登場人物は、サロメ(ソプラノ)、ヘロデ(テノール)、ヘロディアス(メゾ・ソプラノ)、ヨハナーン(バリトン)、ナラボート(テノール)、ヘロディアスの小姓(メゾ・ソプラノ)の6人です。沼尻ワールド全開の「サロメ」。ぜひご期待ください!



CAST

サロメ:田崎 尚美 ヘロデ:福井 敬 ヘロディアス:谷口 睦美 ヨハナーン:大沼 徹 ナラボート:清水 徹太郎 ヘロディアスの小姓:山下 裕賀
ユダヤ人1:小堀 勇介 ユダヤ人2:新海 康仁 ユダヤ人3:山本 康寛 ユダヤ人4:澤武 紀行 ユダヤ人5:加藤 宏隆
ナザレ人1/カザパドキア人:大山 大輔 ナザレ人2:大川 信之 兵士1:大塚 博章 兵士2:斉木 健詞 奴隷:山際 き佳

The 680th Subscription Concert of the City of Kyoto Symphony Orchestra

Conductor: Ryusuke Numajiri

指揮 沼尻 竜典

神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督、びわ湖ホール桂冠芸術監督。ベルリン留学中の1990年、プザンソン国際指揮者コンクールで優勝。以後、ロンドン響、モントリオール響、ベルリン・ドイツ響、ベルリン・コンツェルトハウス管、フランス放送フィル、トゥールーズ・キャピトル管、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、シドニー響、チャイナ・フィル等、世界各国のオーケストラに客演を重ねる。国内ではNHK交響楽団を指揮してのデビュー以来、新星日本響、東京フィル、名古屋フィル、日本フィル、群馬響、日本センチュリー響のポストを歴任。ドイツではリューベック歌劇場音楽総監督を務め、オペラ公演、劇場専属のリューベック・フィルとのコンサート双方において数々の名演を残した。ケルン歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパー、バーゼル歌劇場、シドニー歌劇場等へも客演。16年間芸術監督を務めたびわ湖ホールでは、モーツァルト、ロッシニ、ヴェルディ、プッチーニ、ワーグナー、R.シュトラウスからツェムリンスキーまで数多くの意欲的なプロダクションを実現、国内外から注目を集めた。2017年からは4年間かけてミハエル・ハンベの新演出による『ニベルングの指環』を上演、空前の成功を収めた。14年には横浜みなとみらいホールの委嘱でオペラ『竹取物語』を作曲・初演、国内外で再演されている。17年紫綬褒章受賞。



Salome: Naomi Tasaki (Soprano)

Herodes: Kei Fukui (Tenor)

Herodias: Mutsumi Taniguchi (Mezzo Soprano)

サロメ 田崎 尚美 (ソプラノ)



東京藝術大学卒業。同大学院及び二期会オペラ研修所修了。研修所修了時に優秀賞受賞。2012年飯守泰次郎指揮『パルジファル』クンドリで二期会デビューを飾る。以降、二期会『ナクソス島のアリアドネ』アリアドネ、日生劇場『ルサルカ』タイトルロール、びわ湖ホール『ワルキューレ』ジークリンデ等立て続けに出演。近年も、19年二期会『サロメ』タイトルロール、20年グランドオペラ共同制作『トゥーランドット』タイトルロール、21年『タンホイザー』エリーザベトや、22年新国立劇場『さまよえるオランダ人』で急遽代役としてゼンタにて出演する他、その後の二期会『パルジファル』クンドリ等話題の公演に主要な役で出演している。また、コンサートでもメンデルスゾーン『エリヤ』、マラー『交響曲第4番』、『交響曲第8番』等のソロも務めている。2023年2月、各方面より話題を呼んだ二期会『トゥーランドット』タイトルロールで絶賛を博した。二期会会員。

ヘロデ 福井 敬 (テノール)



国立音楽大学大学院修了後、文化庁オペラ研修所を経て渡伊。二期会『ラ・ボエーム』でデビュー以来、数々のオペラに主演。群を抜く輝かしい声と卓越した表現力で長きにわたり日本を代表するテノールとして活躍。殊に『トゥーランドット』カラフは様々なプロダクションで称賛され、他にも『オテロ』、『ドン・カルロ』、『ローエングリン』、『パルジファル』、『サムソンとデリラ』等のタイトルロールや『フィデリオ』フロレスタン、『アイダ』ラダメスで好評を博す。コンサートでもZ.メータ指揮ウィーン・フィルと共演するなど国際的評価を得ている。CDも数多く、2021年オーケストラによるオペラ・アリア集(朝は薔薇色に輝き)、2022年には『宮澤賢治歌曲全集(「イーハトーヴ」歌曲集)』をリリース。第65回芸術選奨音楽部門文部科学大臣賞、第33回エクソンモービル音楽賞洋楽部門本賞、第75回岩手日報文化賞等多数受賞。国立音楽大学教授。東京藝術大学非常勤講師。二期会会員。

ヘロディアス 谷口 睦美 (メゾ・ソプラノ)



東京藝術大学卒業。同大学院修了。二期会研修所修了。二期会『皇帝ティトの慈悲』セストで一躍注目を集め、以降、二期会『ナクソス島のアリアドネ』作曲家、『カプリッチョ』クレロン、『ドン・カルロ』エポリル、『リゴレット』マッダレーナ、新国立劇場『ナブッコ』フェネーナ、『カヴァレリア・ルスティカーナ』ローラ、『ホフマン物語』アントニアの母の声/ステッラ、びわ湖ホール『ラインの黄金』フリッカ、『神々の黄昏』ワルトラウテ等多数出演。近年はびわ湖ホール『ローエングリン』オルトルート、『カルメン』タイトルロールで絶賛を博した。コンサートでもヘンデル『メサイア』、ベートーヴェン『第九』、ロッシニ『スターバト・マーテル』、ヴェルディ『レクイエム』など数多くのオーケストラと共演。『NHKニューイヤーオペラコンサート』やテレビ朝日『題名のない音楽会』等にも出演。第19回出光音楽賞、平成22年度よんでん芸術文化奨励賞受賞。二期会会員。

Jochanaan: Toru Onuma (Baritone)

Narraboth: Tetsutaro Shimizu (Tenor)

Ein Page der Herodias: Hiroka Yamashita (Mezzo Soprano)

ヨハナーン 大沼 徹 (バリトン)



東海大学卒業、同大学院修了。大学院在学中に渡独、フンボルト大学にて研鑽を積む。二期会オペラ研修所を最優秀賞及び川崎静子賞を受賞し修了。第21回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。2010年二期会『オテロ』イアーゴ、同『魔笛』パバゲーノに抜擢、注目を集め、以降ドイツ・マイセンで研鑽を重ねつつ、二期会『サロメ』ヨカナーン、新国立劇場『愛の妙薬』ペルコレ、『紫苑物語』平太、日生劇場『コジ・ファン・トゥッテ』ドン・アルフォンソの他、近年も二期会『フィガロの結婚』アルマヴィーヴァ伯爵、日生劇場『ルチア』エンリーコで出演し好評を博す等、目覚ましい活躍を遂げている。コンサートにおいてもヘンデル『メサイア』、ブラームス『ドイッ・レクイエム』等のソロとして活躍する他、ツィンマーマン『ある若き詩人のためのレクイエム』日本初演に携わるなど注目の公演に参加。また、『冬の旅』などドイツ歌曲の分野でも高い評価を得ている。二期会会員。

ナラボート 清水 徹太郎 (テノール)



京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。2015年ドレスデンに招聘されザクセン声楽アンサンブルジルヴェスターコンサート『メサイア』でのソロを務める。2017年びわ湖ホールプロデュースオペラ『ラインの黄金』ローグ、同年NHK音楽祭フェドセーエフ指揮『エフゲーニ・オネーギン』トリケ、その他、『カルメン』『サロメ』『ファルスタッフ』等多数のオペラに主要役で出演。同年群馬響大友直人指揮エルガー『神の国』での歌唱も高い評価を得た。他にパッサ『マタイ受難曲』エヴァンゲリスト、『第九』『メサイア』などで活躍している。第33回飯塚音楽コンクール第1位、文部科学大臣賞受賞。第9回東京音楽コンクール第3位、第82回日本音楽コンクールファイナリスト、2012年度音楽クリティッククラブ奨励賞、第38回灘ライオンズクラブ音楽賞、2018年『兵庫県芸術奨励賞』を受賞。びわ湖ホール声楽アンサンブルソング登録メンバー。

ヘロディアスの小姓 山下 裕賀 (メゾ・ソプラノ)

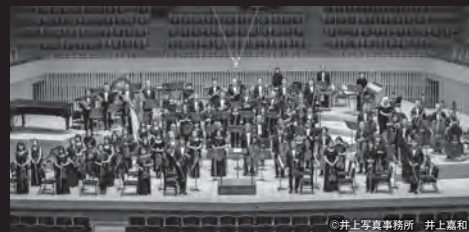


京都府出身。東京藝術大学卒業、同大学院修了課程を首席修了。武藤舞奨学金を得て、在学中にウィーンへ短期留学。同大学院博士後期課程単位取得。第21回コンセル・マロニエ21第1位。オペラでは、日生劇場主催オペラ19年(ヘンゼルとグレーテル)ヘンゼル役、21年(カブレティとモンテッキ)ロメーオ役、22年(セビリアの理髪師)ロジーナ役、藤沢市民オペラ22年(ナブッコ)フェネーナ役をはじめ、『フィガロの結婚』ケルビーノ役など多数に出演。コンサートでは、ヤナーチェク『グラゴル・ミサ』(大野和士指揮・東京都交響楽団)、ベートーヴェン(第九)、ヴェルディ『レクイエム』、デュリュフレ『レクイエム』、プロコフィエフ『アレクサンダー・ネフスキー』などでソロを務める。NHK-FM『リサイタル・パッシオ』に出演。名古屋音楽大学主催ヴェツェリーナ・カサロヴァ史のマスタークラスを受講。日本声楽アカデミー会員。

City of Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年、第12代常任指揮者の広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞、同年6月、広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収めた。平成28年度地域文化功労者表彰、2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞等を受賞。2020年4月、第13代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一(2022年3月まで)、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッド(2023年3月まで)が就任。2008年4月から2022年3月まで14年間にわたり常任指揮者を務めた広上淳一のもとでは、数々の名演を生み出して黄金時代を築き上げた。2023年4月から第14代常任指揮者に沖澤のどかが就任、さらに2024年4月からは首席客演指揮者にヤン・ヴィレム・デ・フリーントが就任予定。京響は今、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。



©井上宇真事務所 井上真利